

問題【国語】

次の鳥の名前を漢字に直してみましょう。

- (1) はと (2) わし (3) う (4) さぎ
(5) うぐいす (6) きつつき (7) もず
(8) すずめ (9) はやぶさ (10) きじ

豆知識 雑学コラム

知れば納得、鳥の漢字

今回は鳥を表す漢字について出題しました。岐阜県には岐阜市の鷺山や、各務原市の鶉沼など鳥の漢字が入った地名も多くあり、馴染みのある漢字も多くあるかと思えます。一方で、啄木鳥や、百舌鳥などは難読漢字だと思えます。では見ていきましょう。

まず、啄木鳥と百舌鳥はその鳥の特徴をもとにできた当て字と言えます。きつつきの「啄」という字は「鳥がくちばしで食べ物をつつく」という意味の漢字です。「木をくちばしでつついて食べ物を取る鳥」で啄木鳥となります。また、もずは、他の鳥の鳴き声のマネをする鳥です。「100種類ぐらい多くの鳥の鳴きまねをできる舌を持つ」で百舌鳥、ひらがな2文字で漢字3文字と思うと不自然な感じがしますが、理由を見るとこれ以上にぴったりの命名はないと納得してしまいますね。

次に「雀」、「隼」、「雉」です。一見すると字の中に鳥という字がなく、どういう成り立ちでできた字なのか疑問に思うかもしれません。しかし、よく見るとこの三つの漢字には共通点がありますよね。それは、三つとも「隹」が入っているということです。この「隹」は「ふるとり」という部首で、「鳥へん」と同じように鳥を表す部首です。「小さい鳥」で「雀」、はやぶさが狩りをする様子から「隼」、矢のように飛ぶ鳥で「雉」という字ができています。

他の「隹」の入っている字も「木に鳥がたくさんいる」様子から「集まる」という字ができているなど「隹」を鳥でイメージするとわかりやすい字がたくさんあります。「隹」が入る他の漢字はどのようなのか考えてみましょう。

【解答】

鶉 (10)

啄木鳥 (9) 鶉 (8) 鶉 (7) 鶉 (6)

鶉 (5) 鶉 (4) 鶉 (3) 鶉 (2) 鶉 (1)